

# 学 園 通 信



No. 260

九里学園高等学校 P T A

2014.12.22 発行



インド派遣

**躍進! 九里生!!**

九里祭・体育祭・研修旅行

## インドで感じたこと

一年二組 来次 広河

私は七月二十日から、JENESYS2・0のプログラムでインド訪問をしてきました。今回の訪問で一番感じたのは貧富の差です。私は移動中に道中で物乞いをする子供の姿を見ました。骨と皮だけしかないような姿で物乞いする姿を見るととても心が痛みました。また一方で学校にかよって勉強している子供達の姿も見えてきました。その子供達は、とても笑顔で楽しんでいる様子が見られました。このようなに同じような歳の子でもこんなにも差があることが分かりました。私はインドの訪問のプログラムが初の海外でよかったと思いました。それは現地では味わえない独特の町並みや空気、食べ物がたくさんあったからです。私はインドにいて、人々が発展に向かって頑張っている姿を見てとても心に感銘を受けました。このインドの訪問で自分が感じたこと、心に思ったこと、考えたことをこれから心に留め、また周りの人達にも伝え、インドという国を理解してほしいと思います。



## インド派遣を通じて

三年三組 大河原歩美

私は、インドが初めての海外でした。インドへ出発する前は、治安が良くない、不衛生だといった、インドのマイナスイメージばかりに囚われ、自分の中で、勝手のイメージをつくっていました。しかし、実際にインドへ行ってみると、とてもフレンドリーで、情が厚いインド人の人柄時代を語る様々な世界遺産や、インド独特の音楽や、煌びやかな民族衣装といった数々のインドの文化に触れる事が出来ました。また、インド人が、とても宗教を大切にしている事、学校訪問先で出会った子ども達の、勉強に対する意欲の高さ、学びたいという気持ちの強さを感じました。生きる為に働かなければいけなかったり、物乞いをして生活する子ども達を目にし、毎日学校へ通えることが、どれだけ幸せな事なのか、改めて気づき、もっと、もっと、毎日を大切にしようと思いました。それと同時に、私が想像していた治安の悪さやゴミ問題、格差問題といったインドの課題点にも触れ、日本では目にする事の無い光景に、驚きや、戸惑いもありました。水という貴重な資源に恵まれている事、安心して生活出来る治安の良さがある事、列をたつて並んだり、丁寧な思いやりの心がある日本人の文化など、インドという国の文化を通して、改めて気づく日本の良さが数多くあり、以前にも増して、日本という国が好きになりました。広い視野での物の見方や、新たな考え方を学び、今回の派遣は自分にとって、とても貴重な経験となりました。



## チーム九里

教諭 鈴木 精

高校生がインドへ行く。高校生でインドを体験できる。日本国際協力センターからインド派遣団として推薦していただけるといってお話を聞き、心が躍った。感受性豊かで将来性も豊かな生徒たちを、言葉では形容しきれない多様さを持つインドに派遣することができるとチャンスをいただいたことに大きな喜びとチャレンジを感じた。チーム九里として、初日から積極的にプログラムに参加し、現地ではインド人の強い宗教心とそれに由来する価値観や学びに対する高い意欲や優しさといったインド人のパーソナリティー、そして経済発展のめざましさ、存在する社会問題とその根深さを五感で感じ、時に感嘆し、時に憤りに涙し、彼らの等身大で丸ごとインドに触れ、考えてきた。最後に全員で発見や考察、感動などを共有し、それらをもとにチーム九里としてアクションプランを作成した。その取り組みの様子からできあがったもので、全てチーム九里のものが最もすばらしいものだった。引率者として、彼らの意欲、取り組みアクションプラン全て高く評価したいし、誇りに思う。そして彼らの成長に喜びを感じたインド派遣だった。

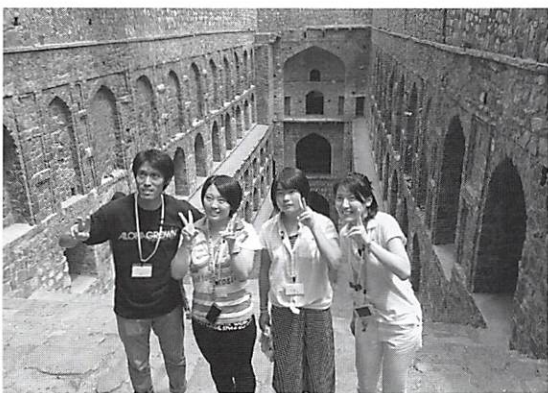
## 社会科教員の見たインド

教諭 岩谷 義彦

私は大学時代に印度哲学を専攻していたものの、何かと縁遠く、実際にインドを訪れる機会がなかなかありませんでした。しかしこの度のプログラムでは実際にインドを訪れるチャンスを得たとき、それまでの自分の知識と現実に経験することのギャップの大きさに幾度となく驚かされました。その中でも社会科の教員という観点で印象に残ったことを思いつくままに書いてみたいと思います。

海外における日本車の占有率について、多くの方は先ずトヨタ、次いでホンダなどを連想されるのではないかと思います。しかしインドの道路において最もよく見かける車はスズキの自動車でした。インドではマルチ・スズキという合弁会社が国内自動車販売において四割のシェアを占めています。バスの車窓から本当にたくさんスズキ車を見かけました。最近では韓国の現代自動車が追いついてきているようですが、インドと日本車の将来のためにぜひ頑張りたいと思います。

また、インドはBRICsの一角として急激な成長を遂げたことはご存知かと思えます。しかし、私の目から見たインドは土地も労働力もまだまだ余力たっぷり、もしインド人がかつての日本人の、エコノミックアニマルと揶揄される位の貧欲さで経済成長を目指すたら一体どうなってしまうのだろうかという恐ろしく感じました。しかし、一方で私はそれを目指さないインドという国と人々に少し好感を抱きました。



九里より19名が参加

# One 祭 29-30



8月29日(金) 校内行事  
8月30日(土) 一般公開 10:00~15:00

※ご来校の際は必ず上履きをご持参ください。  
※駐車場に限りがありますので、なるべく車以外の手段でお越し下さい。

ぜひご来校下さい!!



## 九里祭を終えて

三年三組 藤巻 瑞季

私達にとっては高校生活最後の学園祭。模擬店を開き、焼き鳥やスムージーを売りました。皆さんに買って頂くことができ、クラスの皆で協力して販売する事が何よりも充実していて、最高の思い出となりました。

## 最後の九里祭

三年一組 平 大貴

私達は、お好み焼きとジュースの模擬店をやりました。全て売れるか不安でしたが、売れる班、焼く班、イケメンの人集め班に役割を分担し、効率良く売れる事が出来、結果少しですが利益を産む事が出来ました。三年一組は最後の九里祭を、全員で楽しみ、良い思い出を作りました。



## 団結クラス

二年四組 熊島 春華

私達二年四組は九里祭で二曲のダンスを発表しました。一から考え、話し合いを何度も行いクラス全員が団結し、思い出に残るダンス発表となりました。

## 九里祭

二年一組 川上 大輝

自分は野球部で、九里祭の全日程には参加する事ができませんでしたが、しかし、友達と協力しクラス発表や女装コンテストに取り組み、この九里祭を盛り上げる事ができ、みんなでおおいに楽しめたと思います。

## 初めての九里祭

一年五組 小坂 桃未

初めて九里祭に参加し、特にクラスで造った迷路とスマートボールが一番印象に残っています。クラスメイトと共に遅くまで作業し本番にはたくさんの方が来て下さり、最高の思い出になりました。



## 九里祭を終えて

一年一組 千葉 駿

初めての九里祭。一年一組はモザイクアートを作りました。最初は、終わるか分からなかったが、みんな協力し無事に終わらすことができました。この、九里祭でみんなの絆を深める事が出来て良かったです。

# Be 九 2014.8





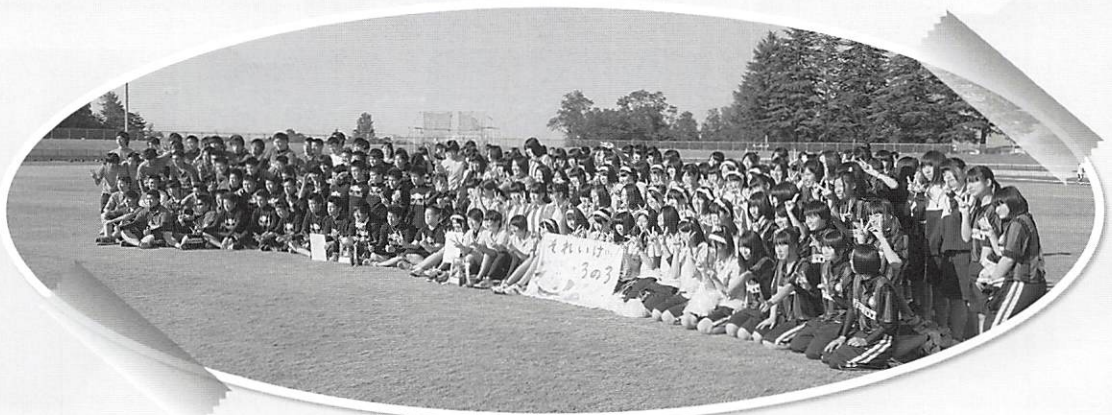
飛び出せ!! 青春!!  
**体育祭**  
 2014.10.9



体育祭を終えて

三年二組 布施 勇太

自分たちにとっては、最後の行事の体育祭でした。二組は前から優勝という目標をかけていました。体育祭当日は種目それぞれ力を発揮して優勝をすることができました。クラスみんなで勝ち取った優勝は最高でした。これからは三年全員で残りの日々を楽しく過ごしていきたいと思っています。



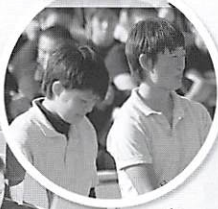
## 最後の最後まで、三年生の皆と

三年三組 佐藤 愛

学年、クラスの仲間と団結し、最高の結果を残すことができた今年最後の体育祭。個人戦から団体戦まで、誰一人とあきらめることなく、全力で競技ができました。三年生の団結力は、今までになく強いと思います。この学年で最高の体育祭ができて、とても嬉しかったです。

大きな行事も終わり落ちついたので、これからの大きな行事は、三年生にとって大事な受験となります。『受験は団体戦。』一人も気をゆるめることなく、体育祭で培った団結力を、受験に向けて三年生皆で頑張っていきます。

目標はもちろん、  
全員合格！



# 二年 国内研修

## 平和を求める沖縄

二年一組 赤木 陽太

沖縄の人々は、悲しい戦争を体験しています。戦争を二度とくり返さないために壕やガマ、ひめゆり塔、平和の礎などを残し、沖縄戦で起きたつらいことを、子ども達に知ってもらいたいと思っています。

自分は、沖縄のことを知って二度と戦争の起きない平和な国にしていきたいと思います。



## 自然と平和を考える in 沖縄

二年二組 高橋 沙恭

今回沖縄研修旅行に行ってきた、沖縄戦のことを中心に学んできました。ガマや壕などを見たり、沖縄戦で亡くなった方の慰霊碑を見たりしてきました。その見ただけでおどろいたことは、未だに遺骨があるということですね。その中で自分達は、しっかりと参拝してきました。沖縄遺骨だけではなくアメリカに負けた後基地を作られ、今でも不発弾があるということです。色々ある中でも沖縄の人は明るく楽しそうに暮らしていました。そのことで自分達は平和な生活を送れることに感謝をしたい。

# 自然と平和を考える in OKINAWA

## 平和の足跡

二年三組 横山 瑛菜

沖縄での四泊五日の研修旅行を終えて、楽しく過ごすことができました。また、沖縄の歴史について学び、沖縄戦の恐しさや普通の住民までもが巻き込まれていた事実を改めて知ることができました。班別のタクシー研修では計画通り進んで楽しめてよかったです。研修旅行を通して、自分を見つめ直すことができてよかったです。

## 「ゆいまーる精神」

### 沖縄にいつてみて

二年四組 中村 恭子

私たちは「平和について」沖縄の文化・歴史を学んできました。沖縄戦を経験した方の講話を聞き、今自分達が平和に生きていられることがどんなに幸せなのか考えさせられました。むら咲きむらでは、沖縄でしかできない工芸や体験もでき、自分としては成長できたと思える研修になりました。



## めんそーれ沖縄

二年五組 小父内結花

私たち沖縄コースは自然と平和についてたくさんの方の事を実際に体験し学んできました。「アブチラガマ」では、戦争当時、実際に使われていた場所でも光もなくて空気も暑い場所でも暮らしていた人たちの気持ちになりました。でも近づく事ができました。この研修旅行でグループでの団体行動など、全員が成長することができました。





東京で学んだ事

二年三組 寒河江亜美

私達芸術文化コースは十一月十一日から十五日までの五日間、東京へ行きさまざまなものを見て感じて学んできました。この旅行で十六人全員が東京の雰囲気を感じて五日間充実した日々をおくる事ができて良かったです。



東京研修を終えて

二年五組 芹澤 千里

東京研修を終えて私は東京の様々な芸術や文化に触れてきました。美術館では普段私達が見ることのできない絵を見る事ができて、貴重な体験をすることが出来ました。この研修で山形と東京の違いに気付きました。そして、何より自分達の力で行動することで大きく成長して帰って来られたので本当に良い経験となりました。



研修旅行を通して

二年三組 黒川真奈穂

歴史を肌で感じてみて教科書では感じられない、歴史の重みを感じました。現代とは全く違う文化を築いてきた人達が日本という国を作ってきた時代の最先端であり、今の私達の生活があるのはこのような歴史の中で素晴らしい人達が歴史を切り開いた結果だと思っています。現代とは違う、古き良き日本らしさが残っていると感じました。



京都の思い出

二年四組 大泉 仁美

あつという間に終わってしまった五日間。京都・奈良は米沢より暖かく、紅葉が見頃で研修旅行には最適な日でした。その中で、特に印象に残ったのは平等院鳳凰堂です。青空を映した水面と平等院がとても鮮やかできれいでした。また、班別研修で行った伏見稲荷大社の赤く続く千本鳥居。京都の赤はともきれいで歴史を感じました。



# 二年 プログレス研修

## ハワイ島

二年六組 勝見 七樹

僕はマウナケアに行き、星空を見ました。その星空は、米沢では到底見ることができないほどきれいでした。視界全体に星空が広がっていて改めて宇宙は無敵だなぁと思いました。強風のため山頂に行けなかったのは残念でしたが、今までで一番きれいで無限な星を見ました。そんな星を見ることができてすごく感動しました。



## ホームステイでの思い出

二年六組 佐久間美里

私のハワイ研修での思い出はたくさんありますが、一番はホームステイをしたことです。ハワイへ行く前は、一週間ホームステイできるか不安でしたがホームステイ先の家族が温かく出迎えてくれてすぐに緊張がとけました。海など様々な場所につれていってもらい、あつという間の一週間でした。将来またハワイへ行ったら、またあの家族に会いに行きたいです。

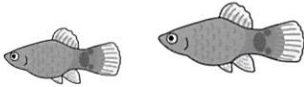


## 二年 オーストラリア研修

### オーストラリアでの成長

二年一組 大槻 竜也

十六日間、オーストラリア研修に行ってきた。たくさんの方を学んでくることができた。不安だったホームステイは何とかコミュニケーションをとろうと英語の聞きとりを相手に確認をとりながら聞いた。何もかもが始めてのオーストラリアは本当にいい経験ができた。親への感謝の気持ちを忘れずこれからの生活に生かしていきたい。



### オーストラリアで学んだ事

二年一組 田井地清流

僕はオーストラリアに行ってきた。ウラの事件について学んできました。行く前にも事前学習で日本人の脱走について学んでいましたが、オーストラリアでの収容所の跡地や墓地を見に行き、事の大きさを充分に知る事ができました。どんな気持ちで脱走を図ったのかなどさまざまな事を知り、良い経験になりました。この経験を色んな人に伝えていきたい。

### オーストラリアで感じたこと

二年三組 齋藤あいら

この十六日間の研修で沢山の事を学びました。一番心に残った事は十日間のホームステイです。出発する前は、コミュニケーションがとれるか不安でした。しかし、ホストファミリーの皆は温かく私をむかえてくれました。そのおかげで、毎日楽しく過ごすことができました。見るもの、聞くことが全てが新しく毎日が刺激的でした。この新鮮な気持ちを忘れたくありません。日本でも常に新しい気持ちで生活していけたら良いなあと思います。



# OG・OBからの 応援メッセージ

## 置賜広域行政事務組合消防本部 米沢消防署

平成二十四年度卒 芳賀 優亮

私は、幼い頃から消防士になることが夢でした。その夢を叶えるため、高校在学中、取り組んできたことが二つあります。

一つ目は学習です。公務員の学力試験は約十五種の科目で構成されているため、多種多様な知識が必要とされます。その勉強をしていく上で大切にしてきたことは、普段の授業での学習です。授業の予習・復習を常に行うことで、知識の基盤が構築され、学力試験にもうまく対応する事が出来ました。

二つ目は、人間性を向上させる事です。社会人になれば、正しい礼儀、責任を持った行動など様々なことが求められます。つまり、高い人間性が求められているのです。そんな中、私はHR委員長、部長を勤め、クラス・部活をまとめてきました。この経験が面接試験に活され、そして、今の職場における自分の原点となり、高い人間性を育む一歩となりました。

今、自分に何が必要なのか考え、確実に克服していくことで、夢への道が開かれるはずで

自らの夢に向かって高校三年間の生活を大切にしていって下さい。



## 特別養護老人ホーム成島園

平成二十二年度卒 遠藤 瑞穂

私は特別養護老人ホーム成島園で働いています。みなさん介護の仕事と聞くだけで「嫌だなとか、きついな、辛い」等思う人が多いと思います。私もこの仕事についていた時は不安でいっぱいでした。でも、今では辛いこと、大変なこととも色々ありますが、毎日が楽しく充実した日々を送っています。介護の主な仕事内容は、色々ありますが、食事

介助、排泄介助、入浴介助などあります。入浴介助等は一对一で行うため、利用者さんとゆっくり話ができる時でもあります。利用者さん一人一人に合ったケア、その人らしいよりよい生活を送って頂けるように支援し、毎日頑張っています。

就職を考えている高校生のみなさん、事務や製造の仕事だけではなく、ぜひ介護の仕事にも目を向けてもらいたいと思います。充実した日々が成島園では待っています。これから就職するみなさん頑張ってください。

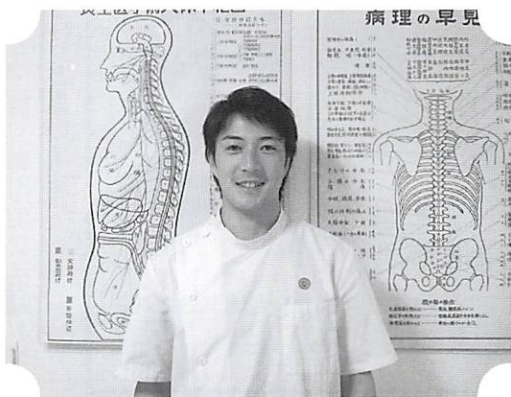


## 長寿館療院林泉寺店

平成十三年度卒 志賀 勇作

皆さんに伝えたいメッセージは多々あります。まず世の中で一番大切なのは和です。和を考えた時『礼と讓』の精神は、人としてどう在るべきかを、良く導いてくれる言葉です。他にも『自分がされて嫌な事は人にしない』『(知・技・思)×行動力=成功力』『自由と責任は比例する』等、深く理解してほしい事は多々あります。でも一番は、今しかない高校生活を存分に謳歌するという事です。

その為にはまず、自分自身を知り自己という根を、熱意ある志という芯を持って、自分を真剣に表現して下さい。そして何でもいいので一つ熱中してみてもいい。失敗しても歩みを止めず、何度でも挑戦して下さい。する前に諦める事が本当の負け犬です。他人に負けても自分に負けなければ、それでいいんです。私も大変お世話になった九里学園には、どこまでいっても見捨てず、寛大な熱心で呼応して下さいる先生方がいます。ぜひ一つ熱く行動して深く得て下さい。



## 塩井保育園

平成二十一年度卒 菊地 道世

高校時代は部活動中心の生活でした。そのため受験対策が遅れ、受験時期に苦勞し、担任の先生に夜遅くまでご指導いただいた事を今でも覚えています。その甲斐あり羽陽短大に入学し、短大では毎日保育の専門分野を学び、保育士になることが夢だった私にとっては興味深い内容ばかりでした。しかし、実習では学んだ事をいかしきれない時もあり、保育士に向いていないと

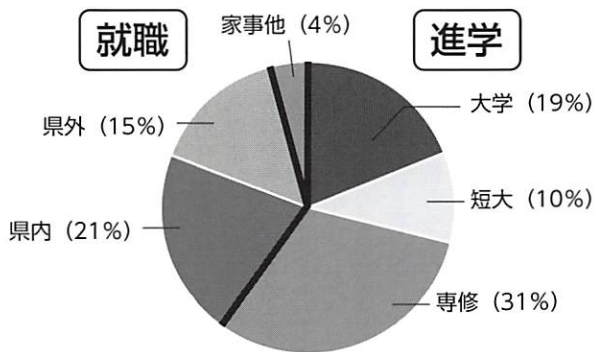
落ち込み、辞めようと思ったこともありました。就職活動では最後まで内定が決まらず焦っていました。初心に戻り幼い頃からの夢を叶えるべく就活を行い、担任の先生に支えられなんと就職することができました。今は保育士として諸先生方からご指導いただき、可愛い子どもたちに囲まれながら楽しく仕事をしています。夢を叶え、大好きなダンスも続け、とても充実した日々を送っています。嫌になったり挫けそうになったりする事はあるけれど、諦めずに前に進むこと！計画実践反省また計画すること！このトライア



ングルを頭におき、日々頑張っています。

『好きなこと、したいことをして今を楽しむこと。辛いことがあれば楽しいことも必ずある。』の楽しいことを糧に頑張っしてほしい！そして支えてくださる先生方、親、友だちに感謝すること！これが私からのメッセージです。

## 昨年度の就職・進学状況



## スクール カレンダー

# 12月・1月・2月・3月

12/23(火)~1/6(火)	冬休み
12/24(水)~26(金)	大短看護進学学習会
1/ 7(水)	全校集会
1/ 8(木)~1/ 9(金)	百人一首クラスマッチ
1/10(土)	推薦・奨学生入試
1/21(水)~1/23(金)	3年生期末テスト
1/31(土)	入学試験
2/14(土)~2/15(日)	雪とろうろ祭り
3/ 2(月)	3年生を送る会
3/ 3(火)	卒業式
3/ 5(木)~3/ 7(土)	1、2年学年末テスト

## 会長になって

新生徒会長 二年三組 黒川真奈穂

私の目指す生徒会は、何事にも積極的に取り組めるような環境を作ることです。

九里祭や体育祭などの大きな行事だけでなく、国際交流や普段の活動で行っているあいさつ運動、またボランティア活動にも進んで参加出来るように活動計画を立てていきたいと思えます。

そのためには、みなさんのご協力が必要となります。ご意見、またはご協力、よろしくお願います。

## 九里学園の発展のために

新生徒会副会長 二年一組 茂木 意

この度、副会長を務めさせて頂くという事で、九里学園の発展に尽力していきたいと強く思っています。具体的には九里学園の強みである国際交流を活かした活動を生徒会活動にも多く取り入れ、県内外から「国際交流の九里」と言ってもらえるよう生徒会役員一致団結して、努力していこうと思います。私も自身も副会長という立場の責任をしっかりと果たせるように、より一層、精力的に活動していこうと思います。

## オーストラリアで感じたこと

新書記局長 二年三組 齋藤あいら

私は、この一年、書記局長として精一杯活動していこうと思えます。私の役目は、生徒会長と副生徒会長を支えることだと思います。しっかりとサポートをし、良い学校作りを貢献したいと思います。また、自分を成長させたいです。社会に出た時に、必要とされる人間になりたいです。そのために、自ら積極的にアクションを起こしていきたいです。全校生も毎日が充実していると思えるような九里学園にしていきたいです。



## 編集後記

学園通信二六〇号では、九里からインドへの留学生を紹介しました。九里祭、研修旅行、体育祭、新生徒会役員等、特色有る九里学園を、お伝え出来ればと思いい、取り組みました。

二年間の広報委員会でしたが、良き思い出になりました。残り少ない日々ですが、一日一日を有意義に過ごしたいと思っています。

最後になりましたが、年末のお忙しい中、先生、広報委員の皆様、編集作業を大変有難うございました。(広報委員長 渡部 謙一)

